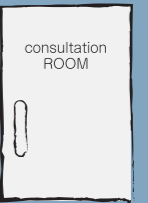


# 「月経困難症、子宮内膜症」についてご説明します。



産婦人科 科長  
小島 学  
こじま まなぶ

きょうは  
産婦人科  
です



こんにちは  
診察室です。

## 月経困難症 子宮内膜症について

### 月経困難症とは

月経困難症は、「月経に随伴して起こる病的症状」と定義されていますが、わかりやすく言い換えれば「月経にかかわる困った症状」のことです。月経困難症の原因は様々ですが、代表的な疾患としては「子宮内膜症」、「子宮筋腫」、「子宮腺筋症」があり、月経時に強い痛み症状や経血量の増加をきたします。また、子宮卵巣に明らか問題がなくても日常生活に支障をきたすほど、強い症状が出てしまう方もおられます。その他に、頭痛、腹痛感や吐き気、排便障害、睡眠障害、うつ症状などの気分障害、立ちくらみや息切れといった貧血症など、月経にかかわる症

状は非常に多岐にわたります。

このような月経困難症が日常生活におよぼす影響は、決して小さなものではありません。例えば、学校や仕事などの社会的活動、家族や友人との人間関係、スポーツなどにおける活動性においては、月経痛の症状が強ければ強いほど、それらの質が低下することがわかっています。また、月経困難症の経済的影響として、わが国では年間約6,800億円の経済損失が算出されており、そのうちの約70%が病欠や業務効率低下などによる労働損失です。月経の際に、頭痛や腹痛、腰痛の症状がひどく現れたり、出血の量が多かったりすれば、仕事に支障が出るのは想

### 子宮内膜症について

月経困難症を引き起こす原因のなかでも比較的頻度のある、「子宮内膜症」について解説します。子宮内膜症とは、子宮内膜またはそれに似た組織が何らかの原因で、本来あるべき子宮の内側、以外での場所で発生・増大することによって病気の起こります。子宮内膜症は女性ホルモンの影響で進行するため、月経が始まってか

らみられるようになりますが、10代で子宮内膜症になることはごくわずかで、20代、30代と年齢が上がるほど増加し、35歳くらいで最も多くなります。子宮内膜症の発生するメカニズムは未だによくわかっていませんが、傾向としては月経の回数が多い、月経サイクルが短い、あるいは月経の期間が長いほど子宮内膜症になりやすいことが知られています。また、月経は妊娠中や授乳中には起こらないため、妊娠出産の経験が少ない女性にも発生しやすいことがわかっています。

子宮内膜症で特に有名なのは、「チョコレート嚢胞」と呼ばれる卵巣の病変で、卵巣内に入り込

んだ子宮内膜症病巣が増殖し、月経のたびに出血を繰り返して、卵巣内に古い血液が貯まることによつて生じます。チョコレート嚢胞は、サイズの大きなものは破裂やがん化の恐れがあるため注意が必要です。また、骨盤内の腸管や腹膜などにも病巣が生じることがあります(図1)。これらの子宮内膜症病巣は、進行すると周囲の組織と「癒着」をおこして下腹部痛や腰痛などの月経痛をきたすほか、排便痛、性交時痛、ひいては慢性骨盤痛などの痛みの原因にもなっています。

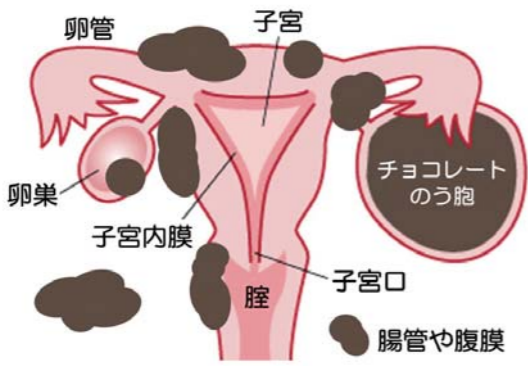


図1 様々な場所に生じる子宮内膜症病巣

子宮内膜症に対するおもな治療法について説明します。まず、治療法は大きく分けて

「薬物療法」と「手術」の2つがあります。重症度はもちろんですが、患者さんの年齢や妊娠の希望なども含めて総合的に判断し最適な治療法を選択していきます。

子宮内膜症の代表的な症状である痛みに対しては、まず初めに治療法として「鎮痛剤」を使用します。ただし、すでに市販の鎮痛剤を使用している患者さんは多く、鎮痛剤のみで効果が十分得られない時には「ホルモン療法」を行います。ホルモン療法にはいくつか種類がありますが、「低用量エストロゲン・プロゲステン配合薬(LERP製剤)」という低用量ピルは、比較的副作用が少なく長期使用可能なためによく使用される薬剤です。その他に「ゴナレアゴニスト(偽閉経療法)」や「黄体ホルモン剤(内服、または子宮内放出システム)」などを用いることもあります。いずれの治療も卵巣機能を抑制して女性ホルモンの分泌を抑えたり、あるいは子宮内膜に直接作用して内膜の増生を抑えたりすることによって、子宮内膜症の症状を緩和し病状の進行を防ぐことができます。

鎮痛剤やホルモン療法でも痛みが制御できない場合や、病

巣が大きく破裂やがん化の危険がある場合には、手術による治療をお勧めしています。今後、妊娠のご希望がある患者さんには、子宮内膜症の病巣のみを切除して子宮や卵巣の正常部分を残す方法を選択します。一方で、妊娠のご希望のない患者さんについては、より再発の危険が少ない方法として子宮内膜症病巣に加え、子宮、卵巣および卵管なども含めて切除を行うこともあり、患者さんごとに相談して術式(手術の方法や内容)を決めるようにしています。今日では、子宮内膜症の手術のほとんどが「腹腔鏡手術」によって行われています。腹腔鏡手術は創が小さく目立たない、術後の回復が早くスムーズな職場復帰が可能といった、子宮内膜症にかかる年齢の患者さんにとって恩恵の大きい術式で、当院でも積極的に腹腔鏡手術に取り組んでおります。

ところで、子宮内膜症は痛みだけでなく「不妊症」の原因にもなります。妊娠の希望のある子宮内膜症患者さんの約30%に不妊があると考えられています。先ほどホルモン療法による治療について説明しましたが、直ちに妊娠の希望のある子宮内膜症の患者さんにつ

### おわりに

月経困難症、そして代表的な原因である子宮内膜症について、症状や治療法を中心に解説しました。子宮内膜症は女性ホルモンの分泌があるあいだは進行・増悪する「慢性疾患」であり、症状の程度や種類によってはホルモン療法や手術などの適切な治療介入が必要な病気です。

竹田総合病院産婦人科は、女性特有の疾患を中心に患者さん一人ひとりに合わせたきめ細かい診療を心がけております。心配な症状やつらい症状があるときは、私たちに相談ください。